

踏切の安全性向上



全方向型踏切閃光灯

どんな方向からも見やすい踏切閃光灯です。



オーバーハング型警報機

高い位置に警報機を設置することにより、遠くから踏切の存在が分かります。



踏切閃光灯・列車進行方向指示器

踏切に設置している閃光灯や列車進行方向指示器をLED化することで、従来よりも遠方からの視認性を高めています。



踏切支障報知装置

異常時に押すことで、列車に対して緊急停止信号を発信します。



踏切障害物検知装置

車などの立ち往生を検知し特殊信号発光機を点滅させるとともに、注意喚起の警告ブザーを鳴動させます。



踏切待ち歩行者保護施設

踏切待ちしている歩行者などを車から守ります。

踏切での啓発活動

踏切道を通るドライバーや歩行者に、踏切道の無理な横断や自動車の無謀通行をしないよう啓発活動を行っています。

また、沿線の小学校に対しては、踏切事故に対する子どもたちへの教育指導もお願いしています。



踏切での啓発活動

踏切道の推移

踏切における根本的な安全対策は立体交差化により踏切を解消することです。当社では、立体交差化を積極的に行い、踏切の解消に努めています。

昭和45年に307カ所あった踏切は、現在では223カ所まで減少しています。

踏切道数の推移

